

★2月号の特集は、園庭が狭いんです！

福岡市では、①認可外と企業主導型保育施設の多くが園庭なく、②園庭の広さ基準を満たさない認可保育園もあります。これらの保育園は、子どもたちがのびのびと過ごす保育園とは言えません。また、近くの公園を代替したり、園庭がなく散歩中心の保育では、大津市の事故のようなことが起きないか毎日不安な保育を行っているのです。コロナ禍で、三密でない保育が必要な今、保育者集団、保護者会、園経営者それぞれが連帯して、子どもたちのためによりよい保育環境を作っていくことを考えあうきっかけになる特集です。

★解説：園庭について、制度では—現在の基準は戦前の半分以下…
詳細は24頁～(村山祐一さん・保育研究所所長)

◎実践①尼崎市・尼崎ひまわり保育園(26頁～)：子どもたちは砂あそびやどろんこあそびが大好き。季節をおって、狭い園庭でのあそびの様子とその工夫について報告されています。

◎実践②東京都板橋区・陽光保育園(31頁～)：◆三歳児はとにかく体を動かすことが大好き、◆曜日を決め、午前中の時間帯を前半後半に分け、◆ダイナミックにあそびたい子とそうでない子とが狭い空間であそぶことで、あそびが邪魔されて県下になることも、◆園庭はなく、砂場しかないという環境だからこそ新しい発見もあり、狭いなりにくふうの仕方があるということを経験することができたように思います、と報告されています。

➡二つ実践報告では、狭い園庭で子どもたちがあそべるために、保育者たちが創意工夫をしていることがわかりました。しかし、子どもたちがのびのびとあそぶ中で成長・発達するのに「自助」では限界であることもわかります。地域の方の「共助」は限定出来です。やはり、「公助」が何よりも求められています。

◎子どもが育つ環境としての園庭(小論)(36頁～)：木下勇さん(大妻女子大学)は、◆森の自然を取り入れた園庭が子どもの免疫機能を改善する可能性をフィンランド自然研究所の研究が明らかにした、◆ジェームズ・ヘックマンらのペリー就学前プロジェクトは、主体的にあそびを自分で考え、実行することが非認知能力の獲得に重要と示している、◆自然素材とりわけ木製の複合遊具が多く設置されている園庭は、現代的な既成のキャラクター遊具の園庭と比較して、子どもの身体の基本動作の発達で優れているなどと、自然豊かな園庭環境が子どもたちのあそびを豊かにすることを論じています。

★小特集は、**コロナ禍で運動会は** (42頁～) : 全国の保育者・職員、保護者に聞きました。▼中止?開催?どんなふうで開催した?▼誰がどこでどうはなしあった?▼保護者にどう伝えた?どう聞いた?▼保護者が思うこと、▼子どもにとって大切なことは?園と保護者で模索…是非、来年の保育園の行事に活かしましょう。

第30回福岡県子育て保育のつどい

2021年1月24日(日曜) 10時～12時

ZOOMによるオンライン開催に!!

※参加申込みをしたが、当日視聴できない方は2月上旬にYouTubeで視聴できます。
※オンラインとYouTubeで視聴できない場合、DVDを貸し出します。

◎講師 **平松 知子** さん(名古屋市・けやきの木保育園園長)

◆参加費：保育センター個人会員 1,200円 一般 1,800円 学生 1,000円
※レジメ・資料代及びその送料も含む

☆主催：福岡県保育センター◆問合せ 092-761-5234

☆後援：(一社)福岡市保育協会、福岡県、福岡県教委、福岡市、福岡市教委

◆申込方法 福岡県保育センターに、FAX(092-781-1995)、Eメール及び郵送で、住所・氏名・所属を明記の上、お願いいたします。1月24日にライブで視聴を希望される方は、できれば1月6日着でお申込みください。後日、YouTube配信やDVD視聴を希望される場合は、1月15日までをお願いいたします。

来年度も『ちいさいなかま』の年間購読をお願いします

★通常号は、1冊440円+送料 ◎年間購読料(12冊分) 5,280円+送料

★臨増号は、1冊540円+送料 ◎臨時増刊号含む(14冊) 6,360円+送料

※3冊以上まとめて同じ住所に送付する場合、送料無料になります。

※30冊以上まとめてご購入いただく園・団体には、直送します。『ちいさいなかま』をいち早く読むことができます。

※4月号からの部数変更等は、できれば2月15日までにご連絡ください。

※新規読者を増やすため、見本誌(無料)を送ります。

福岡県保育センター Mail : center5234@rose.plala.or.jp

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通五丁目1-26 アロマンション 103号館 307

TEL 092-761-5234 FAX 092-781-1995